

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして

みんなが  
住んでよかつた  
と思える川西市に...

# たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 黒田みち

市会議員団控え室 TEL 740-1111 (内線4020)

直通FAX 759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ

http://kurodamich.exblog.jp



## 川西市にも新型コロナ感染拡大

### 「GOTO キャンペーン」ところではない

## 北部医療守れ

### 声広がる

### 「病院統廃合」で医療崩壊



従来案(診療所案)のほうで  
要望をさせていたごうと

「診療所建設」署名を渡す大和自治会長

(12月8日放映「キャスト」より引用)

大は、国が進め自治体が  
呼応してきた病院の統  
廃合・ベッド削減の問題  
点を浮き彫りにしまし  
た。統廃合の結果、医師、  
看護師、病床などの医療  
資源が削減され、各地で  
「医療崩壊」を招いてい  
ます。  
川西市で現在進めら  
れている北部唯一の二

#### 「計画通り建設を」

誘致する計画でした。市は、こ  
の計画すら撤回し、猪名川町・  
晴風園の「リハビリセンター病  
院」建設に置き換えようとして  
います。リハビリセンターは160  
床の回復期病床を予定していま  
すが、外来機能は月々金の内科  
1診と小児科1診(開設を  
めざす)だけで、土曜日や夜間診  
療もなく、北部診療所の代わり  
の役割はとも果たせません。

#### 自治会も署名提出

市民の間で、改めて「地域医  
療を守れ」「まちを壊すな」の声  
が広がっています。  
この間、「北部地域市立川西病  
院移転対策委員会(東谷、牧の  
台、北陵各コミュニティ)」が、  
「基本的考え」をまとめて市長  
と市議会に要望し、懇談されま  
した。「基本的考え」では、「北  
部診療所で予定していた外来診  
療機能をすべて確保し将来とも  
確実に存続すること」などを求  
めています。

その後、牧の台コミュニティ、  
大和自治会、福祉委員会、防災  
会の皆さんが「現市立川西病院  
跡地計画について(お願い)」を  
作成。市が2者択一を迫るなら  
ば、「北部診療所案(現行案)の  
実現を要望する」との住民署名  
を展開。1週間ほどの短期間に  
2629名分を集め、越田謙治郎市長  
に提出しました。(写真)私たち  
残りました。

今回の新型コロナの感染拡

川西でも163床の削減

全国的な新型コロナの感  
染拡大が続く、川西市でもベ  
リタス病院がクラスターの発  
生で救急や新規外来患者の受  
入れ休止の状況です。「GOTO  
キャンペーン」などやっている  
場合ではありません。国も  
自治体も総力をあげてこれ以  
上の感染拡大を食い止める時  
です。

#### 「北部診療所」撤回NO!

市立川西病院の閉鎖に伴う  
代替策として計画されたのが  
「北部診療所」の建設。内科3  
1診、小児科、整形、外科ほか各  
1診、うち内科1診は24時間  
診療で、ほかに開業医2診を

市民の間で、改めて「地域医  
療を守れ」「まちを壊すな」の声  
が広がっています。  
この間、「北部地域市立川西病  
院移転対策委員会(東谷、牧の  
台、北陵各コミュニティ)」が、  
「基本的考え」をまとめて市長  
と市議会に要望し、懇談されま  
した。「基本的考え」では、「北  
部診療所で予定していた外来診  
療機能をすべて確保し将来とも  
確実に存続すること」などを求  
めています。

その後、牧の台コミュニティ、  
大和自治会、福祉委員会、防災  
会の皆さんが「現市立川西病院  
跡地計画について(お願い)」を  
作成。市が2者択一を迫るなら  
ば、「北部診療所案(現行案)の  
実現を要望する」との住民署名  
を展開。1週間ほどの短期間に  
2629名分を集め、越田謙治郎市長  
に提出しました。(写真)私たち  
残りました。

また、12月に北部に病院を残す会  
の方が市長と議長宛に「現病院の存  
続を求める」要望書の署名を新たに  
3411筆追加提出(7/2 1015筆提出)さ  
れています。  
市民の願いを受け止めよ

### 黒豆の声

市民の「ありがとう」が聴こえる政治を  
子育て支援で人口が増え税収増に  
生活満足度関西1位  
地域が住みやすい91.2%  
明石が好き90.8%の市民意識調査

泉房穂明石市長の話を聴いた  
市職員への暴言で反省し辞職  
出直し選挙70.44%の得票率で再選  
「市民」って誰?!

市民の困ったを解決するのが政治  
「お金がない」は言い訳  
「そんなことはできない」は思い込み  
市民から預かった税金

市役所の知恵と力をプラスして  
市民のために返す  
これが政治、地方自治、市の責任と言い切る

共助と公助のミックスで  
くらしやすい・子育てしやすいまちづくりを  
子育て支援策は未来への投資  
こどもの貧困は政治の責任  
日本初の施策は世界の標準  
課題解決へ発想転換

徹底して市民から学ぶ姿勢  
こどもの命を守らなくて何が政治だ  
母子手帳交付に1時間の懇談  
乳児へのオシメ配達  
ドアチェーンを開けてもらう取組み  
声なき声を聴く政治  
安心して子育てできるまちづくり

80分のエネルギー溢れる講演  
困った時はお互いさま  
まちが大家族の役割を果たす取組み  
高齢者や障がい者にも優しい政治  
新しい自治を地方から

どの言葉にも共感  
元氣と勇気をいっぱいもらった  
市役所は市民の役にたつ所!!  
市民の困ったをなくす所!!

裏面につづく...